

# 大賞

## 大賞2作品に寄せて(審査委員より)

この2作品を並べて見ると、京都で生活する人や京都を訪れる人の全体に思いが巡り、「みやこユニバーサルデザイン」の可能性が感じられます。是非、セットで大賞にと考えました。いずれも、市バス・地下鉄をはじめとする公共交通に関するものです。京都市の交通局から「大賞を受賞された両作品に込められた思いを大切に、今後とも、お客様に愛される安全で便利な市バス・地下鉄を目指します」とコメントをいただきました。

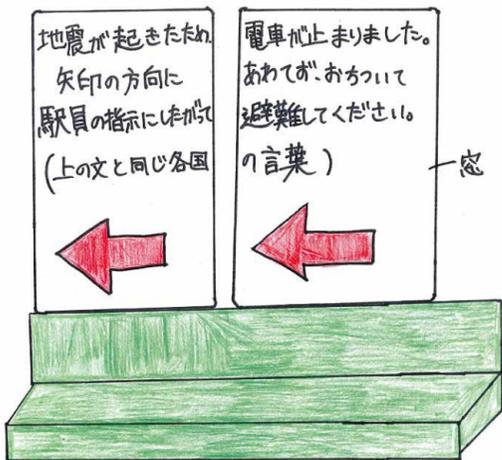
## 窓に緊急字幕放送

ひろべ ふうか  
廣部 楓佳  
二条中学校・3年

聴覚障害のある人は、電車やバスで緊急のことがあっても放送の音だけでは情報が入りにくい。また、緊急時はみんながパニックになって指示の放送などを聞き逃してしまうことも考えられる。視覚的に情報が入れば、すぐ分かり便利である。

### 審査委員コメント

取り残される人がないように情報の伝達手段をミックスすることは大切で、電光文字等による表示も進んでいる。窓も活用できるのではないかと、瞬時に広告が緊急情報に変われば効果的だ、とアイデアが育っていく。



地震など緊急のことで電車やバスが止まったとき、窓に字幕や矢印がわかりやすく出てくると、聴覚障害を持った人や高齢者の人も分かるのでスムーズに避難することができます。また、色々な国の言葉も書かれるので外国人もパニックにならずに避難することができます。

## ボタンを押すだけ

ふくだ みく  
福田 美玖  
東山総合支援学校・3年

学校に行くときに、バスが混雑していて降りたいバス停で降りることができなかった。首に吊り下げてボタンを押せば、場内に「降ります」と聞こえるため、声が出なくても安心してバスを降りることができる。

### 審査委員コメント

普通の人気が付きにくいハードルをクリアするための道具。脳梗塞で声が出にくい方もいる。言葉が分からない外国の方など、他にも応用できそう。



## みやこユニバーサルデザイン賞とは

京都市では、誰にでも利用しやすいものやサービス等の普及を目指す、ユニバーサルデザインの考え方を、多くの皆様にご存知いただくとともに、ユニバーサルデザインの取組を推進するため、市民の皆様からアイデア等を募集し、すぐれたものを「みやこユニバーサルデザイン賞」として顕彰しています。

今年度は、「生活の中のユニバーサルデザイン～いろんな人の立場に立って考えよう～」をテーマに6月1日(水)から9月5日(月)の期間にアイデアを募集し、京都市みやこユニバーサルデザイン審議会における部会での厳正な審査の結果、11件の受賞を決定いたしました。

### ■審査委員(五十音順)

氏名	所属・職名等
市村 勝	京都商店連盟副会長
浮守 隆夫	京都市身体障害児者父母の会連合会
田中 美子	市民公募委員
塚田 章	京都市立芸術大学教授(部会長=審査委員長)
直野 信之	京都新聞社会福祉事業団常務理事
中川 貞夫	京都精神保健福祉推進家族会連合会理事
原田 ふたみ	京都 YWC A
福山 隆夫	京都商工会議所常議員
松田 めぐみ	京都弁護士会・弁護士(副部会長)
宮井 真澄	京都市児童館学童連盟理事

### ■平成28年度受賞(応募)数 11件(応募件数 920件)



## 平成28年度みやこユニバーサルデザイン賞の所感(審査委員長)

平成28年度のみやこユニバーサルデザイン賞には920点(昨年度561点)の応募がありました。中学生からの応募は744点(昨年度455点)、高校生・一般からは113点(昨年度79点)、小学生からは63点(昨年度27点)で、これらの応募数は昨年比べて大幅に増加しており、「みやこユニバーサルデザイン」の活動が深く認知されていると実感します。

今年度の受賞は2作品セットでの受賞となりました。中学生と高校生からの応募と共に京都の市バス・地下鉄に関するものです。京都を訪れる方々にとって重要な移動手段である公共交通に関わっての問題発見、問題解決が提案されています。「窓に緊急字幕放送」は通常は車窓から外の景色を眺める状態にしてあり、緊急時のみ車窓に文字が表示されるというものです。「ボタンを押すだけ」は混雑したバスで、後部に乗車して出口に辿り着く前にドアが閉まってしまうというトラブルを避けるための提案で、降りる乗客がまだ居ることを確実に運転手に伝えることが可能になります。共に実現性の高い提案で高く評価されました。

優秀賞は、小学生からの提案では「おしゃべりポスト」、中学生からの提案の中からは「多機能型建造物」と「雨坊主 RAIN-BALL」、高校生からの提案からは「声で反応エレベーター」が選ばれました。「おしゃべりポスト」は小学生らしい視点で手紙をポストに入れ易いように考えられています。「多機能型建造物」は既存の建物をリニューアルして地域のコミュニティーを構築するアイデアで緻密な表現も含め評価されました。「雨坊主 RAIN-BALL」は家族への思いやりが込められたもので微笑ましい提案です。「声で反応エレベーター」は目の不自由な方や、荷物で手が塞がっている状況では有用な提案です。

アイデア賞は、小学生からの提案では「かさドライヤー」、中学生からの提案の中からは「Same Shoes」と「回転車止め」、高校生からの提案からは「すぐ発見!!お買い物マップかご!」が選ばれました。これらの提案も単に机上で考えられたものではなく生活体験、観察等を経てのもので良い提案であると評価されました。今年度の提案では便利グッズのようなものが少なくなっていて、ユニバーサルデザインが正しく理解されてきたと感じました。

### ■問い合わせ先

京都市保健福祉局障害保健福祉推進室 **みやこユニバーサルデザイン推進担当**

〒604-8571 京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488

TEL 075-222-4161 FAX 075-251-2940

Eメール syogai@city.kyoto.lg.jp

ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000051996.html>

みやこユニバーサルトップ 検索

この印刷物が不要になれば「雑がみ」として古紙回収等へ



## 平成28年度

# みやこユニバーサルデザイン賞

## 受賞作品集



### ユニバーサルデザインとは

「すべての人のためのデザイン」と言われ、年齢、性別、国籍、能力など、様々な特性や違いを超えて、できる限りすべての人が利用しやすいようにまちづくりやものづくり、情報やサービスの提供を行っていかうとする考え方のこと。

平28年度  
みやこ  
ユニバーサル  
デザイン賞

テーマ

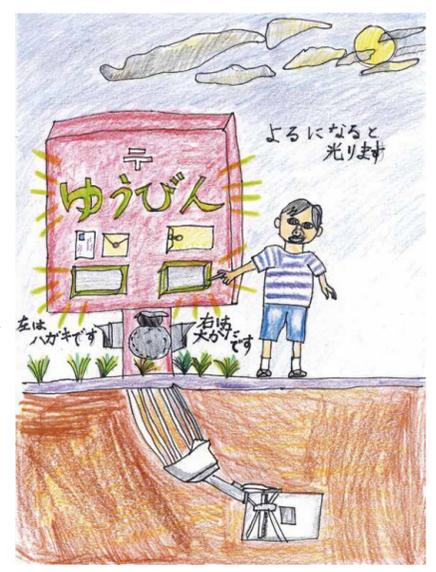
生活の中のユニバーサルデザイン  
いろいろな人の立場に立って考えよう

# 優秀賞

## おしゃべりポスト

鈴木 健太  
桂坂小学校・2年

ポストの地下にコントローラーがあり、しゃべるポストの音を調整するので、字が読めない小さな子どもや目の見えない人も手紙が出せる。ポストの口は低くしているので、小さな弟でも届く。夜は光るように工夫した。皆さんが幸せな気持ちになるとうれしい。



**審査委員コメント**  
インターネットの時代でも手紙やポストの役割は重要だと再認識した。いろんな人に使いやすいよう気配りされている楽しいポスト。絵にも、すごく熱意が感じられる。

## 雨坊主 RAIN-BALL

北 龍馬  
桂川中学校・2年

ボールに穴が開いており、それにスカートのようなものがついている。傘にはめるだけで、先端が目や顔に当たったときでも衝撃を吸収してくれるので、安心で安全。傘からしたり落ちる雨水をスカートの部分でキャッチできるので、電車、バスなどの公共交通機関やショッピングセンターなどの店内に傘袋を使用せずに水たまりを持ち込まずにすむ。

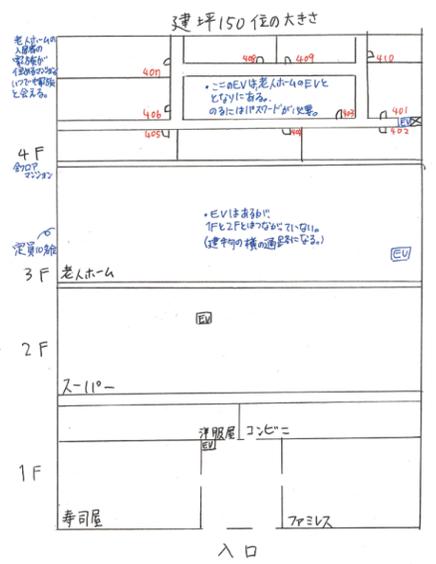


**審査委員コメント**  
駅の階段で4歳の妹をかばうことがヒントになった作品。日常生活の中で放置される危険に目を向けさせてくれる点を評価したい。絵も説明もわかりやすく、市府のキャラクターへの言及も心憎い。

## 多機能型建造物

黒川 颯太  
京都学園中学校・1年

この建物があれば地域の活性化につながる。老人の多い地方では特に良い。1・2階には一般の人でも使える施設もあるので便利である。若い人達の店を入れてもよい。4階はマンションで、3階の老人ホームにいる家族といつでも会える。1・2階のエレベーターと3・4階のエレベーターはつながっていないので安全である。

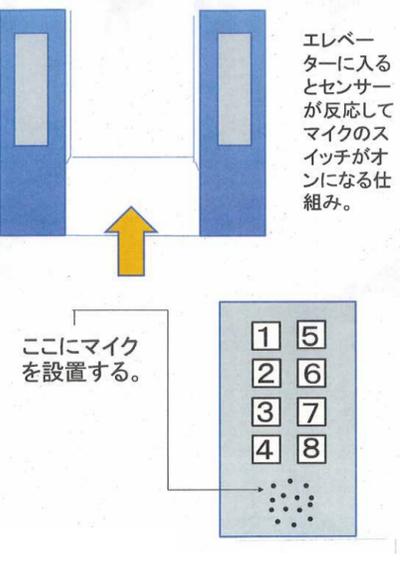


**審査委員コメント**  
地域の活性化を見据えたこのような施設を考える中学生の立場に驚いた。様々な立場の人が共に暮らせるのは社会の見本。人と人の関係性を提案した作品である。

## 声で反応エレベーター

川本 光祐  
京都すばる高等学校・2年

マンションやショッピングモールなどのエレベーターでは、荷物を持っている人や子連れの人でも乗っており、ボタンを押す余裕がないことも少なくない。そこで、声で降りたいところを言うことでそれに反応して降りしてくれる機能を備えたエレベーターを思いついた。妊婦の方、体の不自由な方、視覚障害者の方も楽に使える。



**審査委員コメント**  
利用者の意思を伝えるのに、一つの方法(ボタン)だけでなく別の方法(声)があるという発想がよい。複数の人が乗り合わせたらどうするか課題もあるが、これで色々な人が便利になる。

# アイデア賞

## かさドライヤー

藤井 日菜乃  
立命館小学校・1年

雨でぬれた傘をバスや電車に乗る前に、箱のようなものに入れると、中から風が出てきて傘についている水が乾く。まわりの人に濡れた傘が当たらないし、床が濡れてすべることがないようにできる。

**審査委員コメント**  
他の乗客への配慮や危険の防止が作品のベースにある。ぬれた傘が迷惑になっていることによく気が付いたし、バスや電車の入口に設置するアイデアがよい。



## かいて黄ぼう

長島 寿里亜  
久世児童館・小4

帽子の中にカップを収納しているため、傘を持っていなくても、急な雨でも守ってくれる。帽子の上のボタンを押すとミニ扇風機が出てくるので、夏の暑い日には涼しくて良い。

**審査委員コメント**  
小学生らしい素直な提案で夢がある。急な雨の時にとっても便利で、ミニ扇風機も他に応用ができそう。老若男女どんな人の被る帽子にもあってほしい機能である。



## Same Shoes

隈元 乃愛  
桂川中学校・2年

左右どちらでも履ける左右同型の靴。マジックテープで大きさを調節することができる。甲部分はゴム製のため脱ぎ履きしやすく。足先は中厚低反発素材でフィットしやすくなっている。日本人に多い外反母趾や巻き爪などの足を痛めている人でもソフトな素材なので履きやすい。目の不自由な人も左右気にせず履くことができる。

**審査委員コメント**  
逆転の発想ともいうべきもので面白いし、提案内容の表現技術も高い。そういえば下駄も左右両用である。介護で母に履物を履かせるときに、左右をまちがえたことがある。

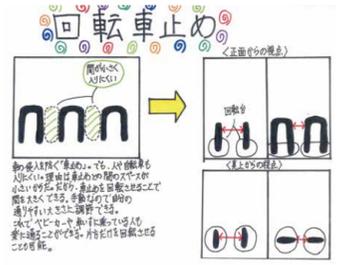


## 回転車止め

田中 陽晴  
桂川中学校・2年

車止めを回転させることで車止めの間を大きくできる。手動なので自分の通りやすい大きさに調節できる。ベビーカーや車いすに乗っている人も楽に通ることができる。片方だけを回転させることも可能。

**審査委員コメント**  
車止めが邪魔になって、ベビーカーや車いすが通れないことは確かにある。何気ない日常風景に着目し、万人が便利のように発想した点を評価した。



## すぐ発見!! お買い物マップかご!

田中 夏希  
京都すばる高等学校・2年

かごに付いているタブレットで買いたいもの(求めているもの)を検索すると、イラストの地図で「ここにあるよ」と伝えてくれる。料理名を検索すると必要な食材をマップに表示し、短時間で買物が済む機能もある。文字変換や拡大機能があるので、高齢者から小さい子供、さらには外国人の方も、誰でも簡単に楽しくお買い物ができる。

**審査委員コメント**  
「広いショッピングセンターで迷う」、「妻に言われて買い物に来たがどこにあるか分からない」、そんな不便を感じている人は多い。人に聞けるときは聞けばよいが、これは時間も節約できて大変助かる。

